

市立貝塚病院経営強化プランの進捗・達成状況（令和５年度分）

令和４年３月に総務省より示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、当院では、令和５年度から令和９年度を計画期間とする市立貝塚病院経営強化プラン（以下「計画」と言う。）を令和５年３月に策定しました。計画では、経営改善だけでなく、地域医療構想を踏まえた医療提供体制の構築等、各種の取組等を定めています。

この度、令和５年度における進捗・達成状況を取りまとめましたので、以下にお示しします。

１．医療機能等指標に係る数値について

当院が果たすべき医療機能を十分に発揮しているかを検証する観点から医療機能等に係る数値目標を設定しています。

令和５年度においては、救急患者数、リハビリ件数、患者満足度（入院）クリニカルパス使用率、臨床研修医の新規受入件数、相談窓口対応（医療・療養・福祉相談等）延件数については、計画値をクリアしましたが、手術件数、患者満足度（外来）、在宅復帰率、紹介割合、逆紹介割合は、未達成となりました。

	５年度計画	５年度実績	実績と計画の差異	
救急患者数(人)	2,040	2,817	777	達成
地域救急貢献率	2.3	1.9	▲ 0.4	未達成
手術件数【手術室内】	3,522	3,351	▲ 171	未達成
リハビリ件数	27,238	27,341	103	達成
患者満足度 入院	89.0	95.0	6.0	達成
外来(点:100点満点)	86.0	84.1	▲1.9	未達成
在宅復帰率	98.0	97.7	▲0.3	未達成
クリニカルパス使用率(%)	63.0	63.0	0	達成
紹介割合(%)	53.9	49.7	▲4.2	未達成
逆紹介割合(‰)	45.0	36.7	▲8.3	未達成
臨床研修医の新規受入件数	2	2	0	達成
相談窓口対応(医療・療養・福祉相談等)延件数	9,619	12,986	3,367	達成

※地域救急貢献率については、泉州２次医療圏の令和５年度救急搬送件数が公表されていないため、令和５年１月～１２月の件数で算定

2. 経営指標に係る数値について

令和 5 年度の稼働状況であります。病床利用率は、計画値である 73.6%に対して 73.3%、診療日 1 日あたり外来患者数は、計画値である 595 人に対して 546 人となりました。これに伴い、入院収益、外来収益等の料金収入（医業収益）が、計画値を大きく下回りました。以上のことから、経常収支比率を始め、未達成の項目が多くなっています。

また、令和 5 年度の収支は、経常収支は 373 百万円の赤字となり、計画値を 86 百万円下回る結果となりました。計画未達成の要因としましては、医業費用である給与費、経費等の費用は計画以下に抑制したものの、材料費の高騰、入院収益、外来収益等の料金収入の低迷などで下回ったことなどによるものです。

	5 年度 計画	5 年度 実績	実績と計画 の差異		他院の状況 公立、民間
1) 収支改善に係るもの					
経常収支比率 (%)	96.6	95.4	▲ 1.2	未達成	公 97.4 私 96.4
医業収支比率 (%)	94.0	92.0	▲ 2.0	未達成	公 95.8 私 95.8
修正医業収支比率 (%)	91.6	89.5	▲ 2.1	未達成	公 92.4
不良債務比率 (%)	▲ 7.5	▲ 4.8	2.7	未達成	—
資金不足比率 (%)	▲ 11.3	▲ 8.9	2.4	未達成	—
累積欠損金比率 (%)	26.4	28.1	1.7	未達成	—
2) 収入確保に関するもの					
病床利用率 (%)	73.6	73.3	▲ 0.3	未達成	公 73.2 全 68.4
1 日当たり入院患者数 (人)	183.0	182.5	▲ 0.5	未達成	—
平均在院日数 (日)	8.4	8.5	0.1	達成	—
入院患者 1 人 1 日当たり診療収入 (円)	62,523	61,789	▲ 734	未達成	—
診療日 1 日当たり外来患者数 (人)	595	546	▲ 49	未達成	—
外来患者 1 人 1 日当たり診療収入 (円)	16,765	16,401	▲ 364	未達成	—

医師 1 人当たり入院・外来診療収入(千円)	116,643	132,373	15,730	達成	—
DPC 機能評価係数	1.4197	1.4446	0.0249	達成	—
3) 経費削減に係るもの					
給与費対修正医業収益比率(%)	60.6	60.2	▲ 0.4	達成	公 54.3 私 55.0
材料費対修正医業収益比率(%)	25.3	27.6	2.3	未達成	公 29.4 私 25.9
経費対修正医業収益比率(%)	16.1	16.3	0.2	未達成	公 17.9 私 17.2
減価償却費対修正医業収益比率(%)	6.7	7.1	0.4	未達成	公 6.2 私 5.3
100 床あたり職員数 (人)	131.0	125.0	▲ 6.0	達成	—
後発医薬品使用割合 (%)	79.0	83.4	4.4	達成	—
4) 経営の安定性に係るもの					
常勤医師数 (人)	61	51	▲ 10	未達成	—
常勤看護師数 (人)	190	186	▲ 4	未達成	—
純資産額 (千円)	158,818	136,264	▲ 22,554	未達成	—
現金保有残高 (千円)	707,680	175,662	▲ 532,018	未達成	—
企業債残高(百万円)	3,139	3,345	206	未達成	—

※「他院の状況」欄の公立病院の数値については、大阪府自治体病院開設者協議会・大阪府公立病院協議会が作成し令和 5 年病院事業経営状況調査集計表の大阪府・大阪市を除く府内公立病院の数値（速報値）を記載している。

※「他院の状況」欄の民間病院の数値については、一般社団法人 全国公私病院連盟が令和 5 年 6 月に実施した令和 5 年病院運営実態分析調査の私的病院の数値をもとに記載している。（病床利用率については、私的病院のデータが示されていないため、公立、公的病院を含む一般病院の数値を記載している。また、3) 経費削減に係るものの項目のうち「〇〇対修正医業収益比率」については、「〇〇対医業収益比率」で算定したものを記載している。）

収支について

(単位：百万円)

	5 年度計画	5 年度実績	実績と計画の差異
1. 医業収益	7,488	7,120	▲368
(1) 料金収入	7,115	6,751	▲364
(2) その他	373	369	▲4
2. 医業外収益	608	678	70
(1) 他会計負担金・補助金	284	284	0
(2) 国（府）補助金	10	75	65
(3) 長期前受金戻入	261	266	5
(4) その他	53	53	0
3. 特別利益	0	0	▲0
4. 総収益（1+2+3）	8,096	7,797	▲299
5. 医業費用	7,973	7,739	▲234
(1) 職員給与費	4,420	4,171	▲249
(2) 材料費	1,843	1,913	70
(3) 経費	1,181	1,130	▲51
(4) 減価償却費	492	492	0
(5) その他	37	33	▲4
6. 医業外費用	411	431	20
(1) 支払利息	57	53	▲4
(2) その他	354	378	24
7. 特別損失	0	0	0
8. 総費用（5+6+7）	8,384	8,170	▲214
経常損益（1+2）－（5+6）	▲287	▲373	▲86
純損益（4-8）	▲287	▲373	▲86

3. 令和5年度に実施した計画目標達成に向けた具体的な取組について（主なもの）

➤ 収入増加、確保対策

- 紹介受診重点医療機関を届出（令和5年7月31日選定）
外来機能の明確化と医療機関間の連携を推進するため、医療資源を重点的に活用する外来診療を地域で基幹的に担う紹介受診重点医療機関を届出。令和6年1月1日より診療報酬加算算定開始。
- 手術支援ロボットの導入（令和5年12月6日）
より高度で低侵襲な手術を行うため導入。（令和6年1月10日初症例外科（直腸切除）手術施行）
- 高度治療室（HCU）の設置
高齢化に対応した安全安心な医療提供を行っていくため、6階病棟のうち4床を高度治療室（HCU）に転換。（令和6年4月より運用開始、同年5月より診療報酬加算算定）
- 診療報酬加算の新規取得
画像診断管理加算2（令和5年8月1日算定開始）
CT撮影（64列以上マルチスライス）及びMRI撮影（3テスラ以上）
（令和5年8月1日算定開始）
急性期看護補助体制加算（夜間100対1急性期看護補助体制加算）
（令和5年9月1日算定開始）
など

➤ マネジメント体制の強化

- 経営担当の副院長を設置（令和5年4月）
経営に係るマネジメント体制を強化するため設置。
- 職員のモチベーション向上を目的とした人事評価制度の構築
勤務実績が病院経営にも大きく影響する医師について、診療や医療の質向上に係る病院への貢献を給与等に適切に反映する評価制度を構築。（令和6年4月運用開始）
- 外部アドバイザーの活用（令和5年6月～）
コンサルティング会社を活用し、外部意見を取り入れた経営強化プロジェクト会議を実施。（毎月）

➤ その他

- 医師の確保
麻酔科医1名、放射線科医1名増員。
- 医師（小児科）の宿日直許可取得（令和6年3月18日）
- 医事課プロパー職員の民間病院への研修派遣（令和5年12月～令和6年3月）
- 関係機関と連携した災害医療訓練の実施（令和5年11月11日）
貝塚市医師会、岸和田保健所、貝塚市危機管理室及び貝塚消防本部と連携した災害医療訓練の実施。

- 止水板の改修（令和 6 年 3 月）
浸水対策として老朽化した止水板を改修。

4. 今後について

令和 5 年度は、病床利用率の増加等により医業収益が令和 4 年度と比べ増加したものの、新型コロナウイルス感染症に関連する補助金が減少したこと等により、経常収支は 4 期ぶりの赤字となりました。また、計画どおりの収益を確保できなかったこと等から、経常収支の目標を達成することができませんでした。

令和 6 年度以降、本計画に定める経営目標を達成するため、コストの増加を極力抑制しつつ、令和 5 年度に導入した手術支援ロボット、紹介受診重点医療機関、高度治療室（HCU）を最大限に活用し、また、地域医療機関と連携し、医業収益の増収を図りたいと考えてまいります。

今後も、当院が、貝塚市及び周辺地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供できるよう、総長・院長を中心に職員全員で取り組んでまいりたいと考えています。